

## 令和7年度 学校運営連絡協議会実施報告書

### 1 組織

- (1) 都立杉並工科大学 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 総務部主任＝事務局長、総務部員1名 計2名
- (3) 内部委員の構成  
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭(教務担当)、主任教諭(生活指導担当)、  
主幹教諭(進路指導担当)、総務部主任 計7名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）  
荻窪警察署、荻窪消防署、法政大学教授、杉並区立済美教育センター、井草中学校長、井荻中学校長、  
三谷小学校長、PTA会長、同窓会長 計9名

### 2 令和7年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和7年6月6日（金）内部委員7名、協議委員6名

協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出

昨年度の学校経営報告、本年度学校経営方針の説明

本校の現状と課題等説明、意見交換

第2回 令和7年11月21日（金）内部委員7名、協議委員4名

これまでの教育活動に関する報告

協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議

第3回 令和8年3月13日（金）内部委員7名、協議委員3名

今年度の成果と課題等説明

学校評価の報告及び学校運営に関する提言、協議

協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の結果報告、協議

次年度に向けた方向性の確認

- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第1回 令和7年11月21日（金）内部委員2名、協議委員0名

学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察

今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討

今年度の学校評価の実施に向けた検討

第2回 令和8年3月13日（金）内部委員2名、協議委員0名

アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

評価報告書（原案）の検討

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点

「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。

- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

・12月 全校生徒	対象：178人	回収：145人	回収率：81.5%
・12月 保護者全員	対象：178人	回収：27人	回収率：15.2%
・12月 地域・住民	対象：121人	回収：14人	回収率：11.6%
・12月 教職員	対象：54人	回収：53人	回収率：98.1%

- (3) 主な評価項目

組織体制・学校運営、学習指導、生活指導、部活動指導・特別活動、進路指導、働き方改革

- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）

- ・評価アンケートの回答率が昨年度より全体的に上がり、学校への関心度が高まっていることが感じられた。
- ・生徒及び保護者は、概ね本校に入学してからの学校生活に満足していた。
- ・生活指導についての質問には、生徒・保護者とも肯定的な回答であった。
- ・部活動については、活性化が図れていないという否定的な回答が見受けられた。
- ・進路指導は、進路決定率100%を達成しており、進路指導に対して高い評価が得られた。
- ・自宅学習の時間が少なさは、中学も大学も同じ状況にある。教員と生徒との関係性を高め、学習意欲を向上させていく必要がある。

- (5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）
- ・部活動や学校行事についての満足度が低い傾向にあるため、生徒・保護者の意見を踏まえながら充実した学校生活を送れるように検討を進めていく必要がある。
  - ・防災教育の推進と地域連携を兼ねて、自治会や近隣小学校での防災行事に本校の生徒が参加することを検討していく。
- 4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）
- (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果
- ・新たな方向を目指す地域の学校として、本校の発展を期待していることが伺えた。
- (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題
- ・応募倍率を上げるために情報発信や地域連携の強化させていく必要がある。
  - ・生徒の満足度を高めるために学校行事や部活動の活性化を図る必要がある。
- 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）
- (1) 学校運営
- ・生徒・保護者に対して、機会あるたびに学校の教育方針を説明し理解を得る。
  - ・本校の魅力を伝えるため、今まで以上に情報発信を強化していく。
  - ・生徒が充実した学校生活を送れるよう部活動や学校行事などの活性化を図る。
- (2) 学習指導
- ・生徒が志望校する大学に合格できるよう、長期休業期間中の講習などを充実させる。
  - ・個に応じた学習指導を充実させ、誰ひとり取り残さない指導を強化する。
- (3) 特別活動
- ・充実した学校生活を送れるよう、学校行事等の活性化を図る。
- (4) 生活指導
- ・スマートフォンを使用したトラブルが増加傾向にあるため、警察等とも連携を図りながら、指導を強化していく。
- (5) 進路指導
- ・大学分析を強化し、生徒に的確に情報発信と指導ができるように取組を進める。
- (6) 健康・安全
- ・自転車の交通安全指導を強化するとともにヘルメットの着用率を向上させる。
- 6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合
- (1) 協議委員人数 9人
- (2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
5	2					2

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 企画調整会議 0回

8 その他

- ・保護者のアンケート回収率を更に高めるため、周知方法などを検討する必要がある。
- ・評価精度の更なる向上のため、HPなどによる積極的な情報発信に引き続き務める。